
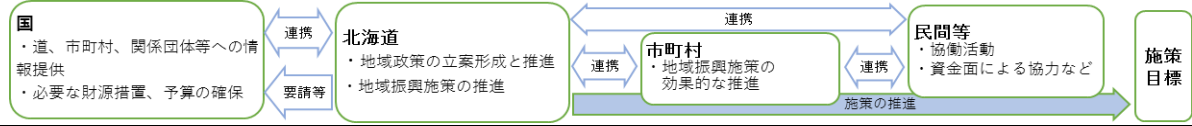


令和3年度 基本評価調書①		所管部局	総合政策部	所管課	地域戦略課	
施策名	地域政策の推進			施策コード	02071	
政策体系(中項目)	連携・協働・交流による未来に向けた地域づくり			政策体系コード	3(6)A	
知事公約	C0001 C0003 C0004 C0005 C0013 C0064 C0083	総合戦略	A2431 A5211 A5212 A5221 A5321 A5322	国土強靱化	B2112 B4461	事務事業数 37
SDGs				総合判定	順調	

【1 Plan】

施策目標	本道各地域の特性や豊かな資源を活かし、地域づくりの拠点である振興局と市町村が一体となって、道民、企業、大学、NPOなどの多様な主体と連携・協働した地域づくりを推進する。民間企業との連携協定等による協働活動やふるさと納税をはじめとする資金面での協力など、幅広い手法による官民連携の取組を推進する。					
現状と課題	本道では、人口減少や少子高齢化の進行により、地域の経済や暮らしなど様々な分野で影響が懸念されている。こうした地域を取り巻く厳しい状況を踏まえ、地域の特性や資源、強みを活かし、民間の知恵と力の積極的な活用や市町村等との連携により、地域振興を効果的に推進していくことが必要である。					
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の個性と魅力を活かした取組の推進</li> <li>「ほっかいどう応援団会議」参加企業・団体と連携した取組の実施など、官民連携の推進</li> <li>各振興局において事業の企画・立案及び市町村等へ多面的に支援をすることで、多様な主体による地域活性化に向けた取組を促進</li> </ul>					
予算額(千円)	R3	5,108,182	R2	5,126,667	R1	5,059,099
施策のイメージ						

＜成果指標の達成状況＞ ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	減少	人	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R5)	達成率	指標判定
本道からの転出超過数(暦年)	目標値		—	—	4,000	0	141.7%	A
	実績値		2,890	3,715	2,331	—		
設定理由	本道各地域の個性と魅力を活かした地域づくりを進めることにより、転出超過の状況を解消することを目標として指標を設定							
分析(主な取組と成果)								
外国人を雇用する企業の増加等、企業や地域による外国人受入が進み、外国人の転入が増加しているが、日本人は、若年層を中心に、主に進学や就職が理由と思われる転出超過が続いている。								

指標名②		R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値						
	実績値						
設定理由							
分析(主な取組と成果)							

指標名③		R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値						
	実績値						
設定理由							
分析(主な取組と成果)							

令和3年度 基本評価調書②	施策名	地域政策の推進	施策コード	02071
---------------	-----	---------	-------	-------

## 【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
	本道からの転出超過数(暦年)	2,890	3,715	2,331	4,000	A
目標(指標)の達成状況	令和元年度の目標は達成。外国人は転入超過であるものの、日本人は転出超過が続いており、引き続き各般の施策に粘り強く取り組む必要がある。 官民連携に係る取組は、新型コロナウイルスの影響で企業等の社会貢献の意識が高まったこともあり、支援や協働の幅が広がり概ね目標を達成した。				指標総合判定	A
連携状況	知事を本部長とし、各部長級で構成する「人口減少問題対策本部」のほか、道内各界の代表者等による北海道創生協議会において、人口減少問題対策の総合的な企画、調整及び推進を図っている。また、全国水準を下回る出生率や道外への転出超過などの課題に対し、自然減と社会減への対策の両面から、より一体的かつ実効性ある取組を行うため、札幌市と協議会を開催し、取組を推進している。ほか、ほっかいどう応援団会議や地域政策推進事業により、連携・協働を進めた。				連携判定	○
緊急性優先性	東京圏から地方への新しいひとの流れをつくる取組を強化するための国への要望を実施。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	令和元年度の目標値を達成しているものの、依然として本道からの転出超過が続いており、目標の達成に向け、各般の施策に粘り強く取り組んでいく必要がある。 官民連携に係る取組は概ね順調であるが、新型コロナウイルスの感染が収束した後においても効果的な連携・協働が継続できるように、取り組む。				総合判定(一次評価)	順調

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	人口減少傾向が今後も続くと思込まれるなか、新型コロナウイルス感染症拡大以降、地方移住への関心の高まりやテレワークの浸透など人々の考え方や行動の変化、また、デジタル化や脱炭素化といった社会変革の動きを的確に捉えながら、引き続き、各般の施策に取り組む。
②	対面での交流が難しい状況においても官民連携を進めていくために、オンラインでの取組みも強化し、市町村を含めた連携・協働を進める。	
③	引き続き、振興局が地域と連携・協働のもと地域課題の解決に向けて取り組む「地域政策推進事業」を推進する。	

## 〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、施策の目標達成に向け事業内容を精査すること。	対応状況(R3.3時点)	意欲のある地域関係者や民間事業者等と連携した取り組みを進めるとともに、オンラインにより企業・市町村との交流を図る取り組みを実施した。
R3年度二次政策評価			

## 【3 Action】

二次政策評価への対応	
R4施策の方向性	○本道各地域の特性や豊かな資源を活かし、地域づくりの拠点である振興局と市町村が一体となって、道民、企業、大学、NPOなどの多様な主体と連携・協働した地域づくりを推進する。 ○民間企業との連携協定等による協働活動やふるさと納税をはじめとする資金面での協力など、幅広い手法による官民連携の取組を推進する。

<b>令和3年度 補助指標調書①</b>	<b>施策名</b>	地域政策の推進	<b>施策コード</b>	02071
----------------------	------------	---------	--------------	-------

**【成果指標の達成状況】**

補助指標名①	増加	件	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定	
「ほっかいどう応援団会議」を通じて実現した官民連携による取組数			目標値	-	-	100	100	150.0%	A
			実績値	-	51	150	-		
<b>設定理由</b>	官民連携の推進のため、「ほっかいどう応援団会議」参加企業・団体との連携による取組を確実に実施することを目標として指標を設定（新規の取組年間100件（市町村への応援も含む））								
<b>分析（主な取組と成果）</b>									
「ほっかいどう応援団会議」を通じた連携、ポータルサイト等による情報発信を実施。新型コロナウイルスの影響で社会貢献の意識が高まったこともあり、参加企業からの支援や協働活動の幅が広がった結果、令和元年度に比べて、大幅に増加した。									

補助指標名②	増加	企業・団体数	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定	
「ほっかいどう応援団会議」の参加企業・団体数			目標値	-	-	332	※	139.8%	A
			実績値	-	302	464	-		
<b>設定理由</b>	官民連携の更なる推進を図るため、「ほっかいどう応援団会議」参加企業・団体数の拡大を目標として指標を設定（※前年度末の参加企業数の1割増）								
<b>分析（主な取組と成果）</b>									
ほっかいどう応援セミナーを開催（札幌開催(R2.10.26)、オンライン(R3.3.26)、ポータルサイト、公式LINE・Facebookによる情報発信）。新型コロナウイルスの影響で社会貢献の意識が高まったこともあり、関わりや支援を得られる機会が増加し、目標値を超える企業の参加に至った。									

補助指標名③	増加	件	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定	
ほっかいどう応援団会議のウェブサイトアクセス数			目標値	-	-	50万以上	250万以上	76.2%	D
			実績値	-	-	381012	-		
<b>設定理由</b>	官民連携の推進のため、「ほっかいどう応援団会議」参加企業・団体との連携による取組を確実に実施することを目標として指標を設定（サイトアクセス数 50万アクセス/年）								
<b>分析（主な取組と成果）</b>									
個人の応援団会員（道ファン子）の参加ツールとして公式LINE・Facebookを運営し、サイトへの誘導を実施。SNSからの誘導により、一定程度のアクセス数が得られたが、今後のアクセス数の増加に向けて、掲載コンテンツの充実に努める。									

補助指標名④	増加	件	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R5)	達成率	指標判定	
全道ネットワークへの参加を契機とする地域づくりに向けた取組の件数			目標値	-	30	40	60	-	-
			実績値	-	-	-	-		
<b>設定理由</b>	道内各地で意欲的に地域づくりにチャレンジしている方々を支援し、業種や地域を越えた重層的なネットワークづくりを通じ、地域が抱える課題の解決や特性を活かした地域づくりを推進する取組を成果として指標を設定								
<b>分析（主な取組と成果）</b>									
新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた各（総合）振興局交流会、全道交流会から規模を縮小し、ほっかいどうチャレンジピッチ（道北、釧路・根室）をオンラインで開催した。R2年度の実績値は、R3年度以降において調査する。									

補助指標名⑤	増加	市町村	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定	
札幌市が持つ都市機能を活用した取組を行う市町村数			目標値	-	-	36	178	346.3%	A
			実績値	-	-	137	-		
<b>設定理由</b>	札幌市との連携による人口減少対策共同プログラムの更なる推進のため、札幌市を除く178市町村で札幌市が持つ都市機能を活用した取組を行ってもらうことを目標として指標を設定								
<b>分析（主な取組と成果）</b>									
令和2年度の目標は達成している。札幌市の都市機能の活用は、道内市町村の人口減少対策に有効であることから、引き続き、目標の達成に向け、道内市町村による札幌市の都市機能を活用した取組を促進する。									

<b>令和3年度 補助指標調書②</b>	<b>施策名</b> 地域政策の推進	<b>施策コード</b> 02071
----------------------	--------------------	--------------------

**【成果指標の達成状況】**

補助指標名⑥	増加	件	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
関係人口をつなぐ仕組みを通じたマッチング件数		目標値	-	300	600	1,500	-	-
		実績値	-	-	-	-		
設定理由	札幌市民等を道内地域の関係人口として地域創生に継続的に関わる仕組みを構築するためのイベント参加者数やウェブサイトの利用者数等を目標として指標を設定							
分析（主な取組と成果）								
昨年度、新たに設定した指標であり現在算定中。								

補助指標名⑦	増加	千人	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
「北海道恐竜・化石ネットワーク研究会」構成自治体の関係施設への入込客数		目標値	-	81	84	100	106.0%	A
		実績値	-	81	89	-		
設定理由	歴史・文化・学術的価値の高い地域資源の魅力を活かした地域振興を図るため、目標として標記指標を設定							
分析（主な取組と成果）								
関係市町村とともに北海道の恐竜・化石のPRに取り組んだことなどから目標の達成につながったものと考えられる。 ※ R2の実績値については、R3.6月時点で未確定のため記入不可。								

補助指標名⑧	増加	千人	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
ジオパーク構成市町村への観光入込客数		目標値	-	21,051	21,633	24,792	93.7%	B
		実績値	-	21,051	20,277	-		
設定理由	歴史・文化・学術的価値の高い地域資源の魅力を活かした地域振興を図るため、目標として標記指標を設定							
分析（主な取組と成果）								
新型コロナウイルス感染症の影響による観光客の減少が大きな要因と考えられる。 ※ R2の実績値については、R3.6月時点で未確定のため記入不可。								

補助指標名⑨	増加	千人	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
日本遺産構成市町村への観光入込客数		目標値	-	38,952	40,099	46,362	90.3%	B
		実績値	-	38,952	36,195	-		
設定理由	歴史・文化・学術的価値の高い地域資源の魅力を活かした地域振興を図るため、目標として標記指標を設定							
分析（主な取組と成果）								
新型コロナウイルス感染症の影響による観光客の減少が大きな要因と考えられる。 ※R2の実績値については、R3.6月時点で未確定のため記入不可。								

補助指標名⑩	増加	件	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
北海道の移住・定住情報を発信するサイトのアクセス数		目標値	285,000	300,000	309,000	311,000	100.2%	A
		実績値	308,619	296,785	309,508	-		
設定理由	第2期総合戦略の「北海道に住みたくなる、戻りたくなる魅力にあふれた社会」の主な施策「移住・定住の促進」の観点から、移住の契機となる取組を指標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
地方移住への関心の高まりと、本道への移住に関する「しごと」「住まい」「暮らし」の情報発信を効果的に行うことで、順調にアクセス数が増加した。								

<b>令和3年度 補助指標調書③</b>	<b>施策名</b>	地域政策の推進	<b>施策コード</b>	02071
----------------------	------------	---------	--------------	-------

**【成果指標の達成状況】**

補助指標名⑪	増加	人	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
関係人口創出・拡大のための首都圏等での交流イベント参加者数		目標値	-	258	580	740	60.0%	D
		実績値	200	218	348	-		
<b>設定理由</b>	第2期総合戦略の「北海道に住みたくなる、戻りたくなる魅力にあふれた社会」の主な施策「関係人口の創出・拡大」の観点から、関係人口拡大の契機となる取組を指標として設定。							
<b>分析（主な取組と成果）</b>								
新型コロナウイルス感染症への対策を講じた上で、首都圏で関係人口創出・拡大のためのイベント実施のほか、若者等を対象とした本道の魅力を感じ地域への関心を高めるためのイベントについて、開催方法をオンラインに変更し実施したが、オンライン活用の初年度でもあり、集客に苦戦した。								

補助指標名⑫	増加	人	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
北海道に興味・関心のある首都圏等の若者等のSNS参加者数		目標値	-	-	750	1,350	135.0%	A
		実績値	-	709	1013	-		
<b>設定理由</b>	第2期総合戦略の「北海道に住みたくなる、戻りたくなる魅力にあふれた社会」の主な施策「関係人口の創出・拡大」の観点から、関係人口拡大の契機となる取組を指標として設定。							
<b>分析（主な取組と成果）</b>								
首都圏等の若者等を対象とした交流イベントを実施し、参加者に対し積極的にSNSを活用した北海道とつながるネットワークへの参加を促していくことで、若年層への情報拡散にもつながり、SNS参加者数の増加及び交流づくりの機会拡大が図られた。								

補助指標名⑬	増加	市町村	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
ワーケーション参加市町村数		目標値	-	-	30	58	196.7%	A
		実績値	-	16	59	-		
<b>設定理由</b>	第2期総合戦略の「北海道に住みたくなる、戻りたくなる魅力にあふれた社会」の主な施策「関係人口の創出・拡大」の観点から、関係人口拡大の契機となる取組を指標として設定。							
<b>分析（主な取組と成果）</b>								
新しい働き方として注目されているワーケーションについて、手引きの作成などによる市町村への普及や会議の開催などにより、ワーケーションに取り組む市町村が増加した。指標については、施策の推進状況をより把握することができる内容に変更する予定。								

補助指標名⑭			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
<b>設定理由</b>								
<b>分析（主な取組と成果）</b>								

補助指標名⑮			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
<b>設定理由</b>								
<b>分析（主な取組と成果）</b>								

